令和6年度学校保健統計調査結果(高知県分)

【調査の概要】

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るものである。

2 調査事項

児童等の発育状態(身長、体重)及び健康状態(疾病・異常の有無)

3 調査の対象

調査の対象は、文部科学大臣が指定する幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、 義務教育学校、中等教育学校及び高等学校(以下「調査実施校」という。)に在籍する満 5 歳 から 17 歳(令和 6 年 4 月 1 日現在)までの児童等の一部(抽出調査)。

〈調査実施校数及び調査対象者数〉

	調査実施校	発育状	態調査	健康状態調査				
区分	(校•園)	調査対象者(人)	抽出率(%)	調査対象者(人)	抽出率(%)			
幼稚園	27	749	64.6	790	68.1			
小学校	58	5,255	17.6	20,150	67.5			
中学校	38	4,002	25.2	11,826	74.4			
高等学校	24	2,062	12.6	13,126	80.3			
計	147	12,068	19.1	45,892	72.5			

- (注)1. 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別 男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員 を対象としている。
 - 2. 幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む(以下同じ)。
 - 3. 小学校及び中学校の抽出率は、それぞれ義務教育学校の第1学年から第6学年までの児童数及び第7学年から第9学年までの生徒数を含む割合としている。

4 調査系統

文部科学大臣⇔都道府県知事⇔調査実施校の長

【調査結果の概要】

1 発育状態

(1) 身長

- ①前年度との比較(図1)
- 男子は、10~13、15~17歳で前年度より増加している。
- ・女子は、7~9、12、13、15、16 歳で前年度より 増加している。

②全国平均との比較(図2)

- ・男子は、全ての年齢で全国平均を下回っており、 14歳では 1.1cm 低くなっている。
- ・女子は、12、16歳を除く年齢で全国平均を下回っており、17歳では1.6cm低くなっている。

- ③親世代(30年前)との比較(図3)30年前の平成6年度と比較すると、
 - ・男子は、7~15、17歳で親世代を上回って おり、12歳では2.4cm高くなっている。
 - ・女子は、7~12、16歳で親世代を上回って おり、10歳では1.7cm高くなっている。





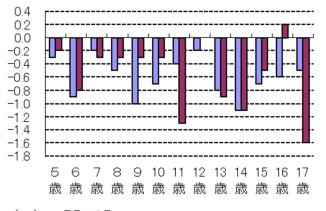




表 1 年齢別身長の平均値

															(cm)
					男子							女子			
区	分	H6年度	R5年度	R6年度	増	減	全	国	H6年度	R5年度	R6年度	増	減	全	国
		(30年前)			対30年前		R6年度	高知一全国	(30年前)			対30年前		R6年度	高知一全国
幼稚園	5歳	110.3	110. 3	110. 3	0.0	0.0	110.6	△ 0.3	109.7	110.0	109.4	△ 0.3	△ 0.6	109.6	△ 0.2
	6歳	116. 2	116. 4	115. 8	△ 0.4	△ 0.6	116. 7	△ 0.9	115. 9	115. 5	115.0	△ 0.9	△ 0.5	115.8	△ 0.8
	7歳	121.9	123. 2	122. 4	0. 5	△ 0.8	122. 6	△ 0.2	121.0	121. 1	121.5	0. 5	0. 4	121.8	△ 0.3
小	8歳	127. 3	128. 4	128. 0	0.7	△ 0.4	128. 5	△ 0.5	126. 4	127. 2	127. 4	1.0	0. 2	127. 7	△ 0.3
学 校	9歳	132. 4	134. 1	133. 0	0.6	Δ 1.1	134. 0	Δ 1.0	132.8	133. 4	133.8	1.0	0. 4	134. 1	Δ 0.3
	10歳	137. 7	138. 7	139. 0	1.3	0. 3	139. 7	△ 0.7	139.1	141. 4	140.8	1.7	Δ 0.6	141.1	Δ 0.3
	11歳	144. 1	145. 3	145. 6	1.5	0. 3	146. 0	△ 0.4	146. 1	147. 1	146.5	0. 4	Δ 0.6	147.8	Δ 1.3
中	12歳	151.4	153. 4	153. 8	2. 4	0. 4	154. 0	△ 0.2	151.5	151.5	152. 3	0.8	0.8	152. 3	0.0
· 学 校	13歳	159. 1	159. 7	160. 3	1.2	0. 6	161. 1	Δ 0.8	154. 1	154. 0	154. 1	0.0	0. 1	155.0	Δ 0.9
校	14歳	164. 7	165. 1	165. 0	0.3	Δ 0.1	166. 1	Δ 1.1	156. 1	155. 3	155.3	△ 0.8	0. 0	156.4	Δ 1.1
高	15歳	167. 6	167. 8	167. 9	0.3	0. 1	168. 6	△ 0.7	156. 7	156. 5	156. 6	Δ 0.1	0. 1	157. 1	Δ 0.5
高等学校	16歳	169.5	169. 0	169. 3	△ 0.2	0. 3	169. 9	△ 0.6	157. 1	156. 9	157. 9	0.8	1. 0	157. 7	0. 2
校	17歳	169.3	170.0	170. 3	1.0	0. 3	170.8	△ 0.5	157. 2	157. 0	156. 4	△ 0.8	Δ 0.6	158.0	Δ 1.6

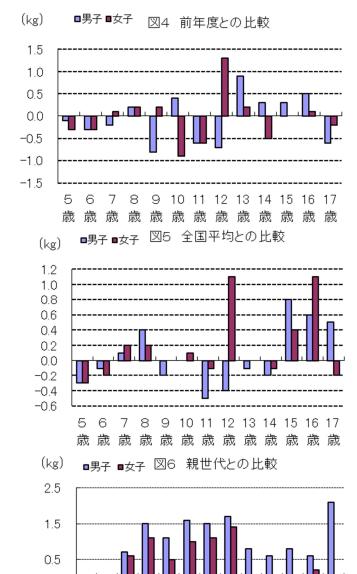
- (注) 1. 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。
 - 2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。
 - 3. 「△」は減少を示す。以下の各表において同じ。

(2) 体重

- ①前年度との比較(図4)
- 男子は、8、10、13~16歳で前年度より増加している。
- ・女子は、7~9、12、13、16歳で前年度より 増加している。

②全国平均との比較(図5)

- ・男子は、7、8、15~17歳で全国平均を上回っており、15歳では0.8kg重くなっている。
- ・女子は、7、8、10、12、15、16歳で全国平均を上回っており、12、16歳では1.1kg重くなっている。
- ③親世代(30年前)との比較(図6)30年前の平成6年度と比較すると、
 - 男子は、7~17歳で親世代を上回っており、 17歳では2.1kg重くなっている。
 - ・女子は、7~12、16歳で親世代を上回って おり12歳では1.4kg重くなっている。



5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳

表 2 年齢別体重の平均値

-0.5

-1.5

															(kg)		
					男子				女子								
区	分	H6年度	R5年度	R6年度	増	減	全	国	H6年度	R5年度	R6年度	増	減	全	:国		
		(30年前)			対30年前	対前年度	R6年度	高知一全国	(30年前)			対30年前	対前年度	R6年度	高知一全国		
幼稚園	5歳	19. 1	18. 8	18. 7	△ 0.4	△ 0.1	19.0	Δ 0.3	18.8	18. 7	18. 4	△ 0.4	△ 0.3	18. 7	△ 0.3		
	6歳	21. 3	21. 6	21. 3	0. 0	Δ 0.3	21. 4	Δ 0.1	20. 9	21. 1	20. 8	Δ 0.1	Δ 0.3	21.0	Δ 0.2		
	7歳	23. 6	24. 5	24. 3	0. 7	△ 0.2	24. 2	0. 1	23. 3	23. 8	23. 9	0.6	0.1	23.7	0. 2		
小	8歳	26. 5	27. 8	28. 0	1. 5	0. 2	27. 6	0. 4	26. 0	26. 9	27. 1	1.1	0. 2	26. 9	0. 2		
学 校	9歳	29. 9	31.8	31.0	1. 1	△ 0.8	31. 2	△ 0.2	30.0	30. 3	30. 5	0.5	0. 2	30.5	0.0		
	10歳	33. 6	34. 8	35. 2	1. 6	0. 4	35. 2	0. 0	34. 1	36. 0	35. 1	1.0	△ 0.9	35.0	0. 1		
	11歳	37. 6	39. 7	39. 1	1. 5	△ 0.6	39. 6	△ 0.5	38. 9	40. 6	40. 0	1.1	Δ 0.6	40. 1	Δ 0.1		
中	12歳	43. 2	45. 6	44. 9	1. 7	△ 0.7	45. 3	△ 0.4	44. 1	44. 2	45. 5	1.4	1.3	44. 4	1.1		
学	13歳	49. 6	49. 5	50. 4	0.8	0. 9	50. 5	△ 0.1	48. 3	47. 3	47. 5	Δ 0.8	0. 2	47. 5	0.0		
校	14歳	54. 2	54. 5	54. 8	0. 6	0. 3	55. 0	△ 0.2	50. 2	50. 0	49. 5	△ 0.7	△ 0.5	49.6	Δ 0.1		
高等学	15歳	59. 0	59. 5	59. 8	0.8	0. 3	59. 0	0.8	52. 6	51. 5	51.5	Δ 1.1	0.0	51.1	0.4		
等学	16歳	60. 5	60. 6	61. 1	0. 6	0. 5	60. 5	0. 6	52. 9	53. 0	53. 1	0. 2	0.1	52. 0	1.1		
校	17歳	60. 6	63. 3	62. 7	2. 1	△ 0.6	62. 2	0. 5	52. 8	52. 5	52. 3	△ 0.5	△ 0.2	52. 5	△ 0.2		

(注) 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。

2 肥満傾向児の出現率

- (1) 前年度との比較(図7)
 - ・男子は、5、7、8、14歳で前年度 より増加している。
 - ・女子は、6、11~15、17歳で前年 度より増加している。

(%) □男子 ■女子 □男女計 図7 前年度との比較



(2) 全国平均との比較(図8)

- ・男子は、6~10、14、15歳で全国平均を上回っており、8歳では3.49ポイント高くなっている。
- ・女子は、6~8、10~17歳で全国平均を 上回っており、11歳では5.66 ポイント高くなっている。

(%) ■男子 ■女子 ■男女計 図8 全国平均との比較

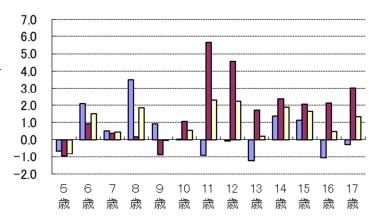


表3 肥満傾向児の出現率

1	0/	+°	ハ	.1	١
(У/∩	71	1 7	' ')

				計					男子			女子					
Þ	分	R5年度	R6年度		全国		R5年度	R6年度		全国		R5年度	R6年度		全国		
				対前年度	R6年度	高知一全国			対前年度	R6年度	高知一全国			対前年度	R6年度	高知一全国	
幼稚園	5歳	2. 77	2. 23	△ 0.54	3. 04	Δ 0.81	2. 12	2. 29	0. 17	2.94	△ 0.65	3. 46	2. 17	Δ 1.29	3. 14	△ 0.97	
	6歳	5. 85	5. 78	△ 0.07	4. 27	1. 51	6. 81	6. 16	Δ 0.65	4. 07	2. 09	4. 80	5. 40	0. 60	4. 47	0. 93	
	7歳	6. 20	6. 72	0. 52	6. 28	0. 44	5. 96	7. 02	1.06	6. 52	0. 50	6. 45	6. 39	Δ 0.06	6. 03	0.36	
小	8歳	10. 56	10.56	0.00	8. 70	1.86	11. 21	13. 00	1. 79	9. 51	3. 49	9. 91	8. 03	Δ 1.88	7. 86	0.17	
学校	9歳	10. 79	10. 21	△ 0.58	10. 22	Δ 0.01	12. 78	12. 21	△ 0.57	11.30	0. 91	8. 71	8. 18	△ 0.53	9. 08	△ 0.90	
	10歳	13. 65	11.49	△ 2.16	10.96	0. 53	15. 77	12. 76	Δ 3.01	12. 73	0.03	11. 46	10. 16	Δ 1.30	9. 10	1.06	
	11歳	13. 90	13.84	△ 0.06	11. 55	2. 29	15. 39	12. 06	Δ 3.33	13.00	△ 0.94	12. 38	15. 68	3. 30	10.02	5. 66	
中	12歳	12. 27	13. 38	1.11	11. 17	2. 21	14. 28	12. 60	Δ 1.68	12.68	△ 0.08	10. 11	14. 16	4. 05	9. 60	4. 56	
学	13歳	11. 35	10. 29	Δ 1.06	10.08	0. 21	13. 21	10. 47	△ 2.74	11.69	Δ 1.22	9. 38	10. 09	0. 71	8. 38	1. 71	
校	14歳	9. 77	10.94	1. 17	9. 07	1.87	10. 70	11. 96	1. 26	10.58	1. 38	8. 78	9. 86	1. 08	7. 49	2. 37	
高	15歳	11. 60	11.88	0. 28	10. 24	1. 64	14. 22	13. 26	Δ 0.96	12. 13	1. 13	8. 84	10. 35	1. 51	8. 28	2. 07	
等 学	16歳	10. 64	9. 39	△ 1.25	8. 90	0. 49	11. 74	9. 88	Δ 1.86	10.94	Δ 1.06	9. 45	8. 88	△ 0.57	6. 77	2. 11	
校	17歳	12. 26	10.50	Δ 1.76	9. 16	1. 34	15. 62	10. 37	△ 5.25	10.63	Δ 0.26	8. 80	10. 65	1. 85	7. 64	3. 01	

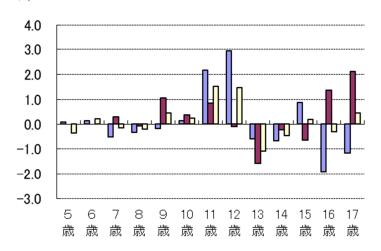
3 痩身傾向児の出現率

- (1) 前年度との比較(図9)
 - ・男子は、5、6、10~12、15歳で前年度より増加している。
 - ・女子は、7、9~11、16、17歳で前年度 より増加している。

(2) 全国平均との比較(図10)

- ・男子は、7~9、13、14、16、17歳で 全国平均を下回っており、16歳では 1.69ポイント低くなっている。
- ・女子は、6、8、10~15歳で全国平均を 下回っており、15歳では1.77ポイント 低くなっている。

(%) ■男子■女子□男女計 図9 前年度との比較



(%) ■男子 ■女子 ■男女計 図10 前年度との比較

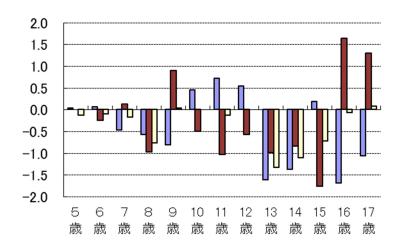


表4 痩身傾向児の出現率

(%,ポイント)

																<u>%0,小イント)</u>	
				計					男子					女子			
Σ	☑分	R5年度	R6年度		全国		R5年度	R6年度		全国		R5年度	R6年度		全国		
				対前年度	R6年度	高知-全国			対前年度	R6年度	高知-全国			対前年度	R6年度	高知一全国	
幼稚園	5歳	0. 50	0. 14	Δ 0.36	0. 26	Δ 0.12	0. 20	0. 27	0. 07	0. 24	0.03	0. 82	-	-	0. 28	_	
	6歳	0. 18	0. 40	0. 22	0. 49	Δ 0.09	0. 35	0.49	0. 14	0. 42	0. 07	-	0. 32	-	0. 56	△ 0.24	
	7歳	0. 56	0. 42	△ 0.14	0. 59	Δ 0.17	0. 67	0. 16	Δ 0.51	0. 62	Δ 0.46	0. 43	0. 71	0. 28	0. 57	0. 14	
小	8歳	0. 61	0. 41	△ 0.20	1. 17	Δ 0.76	0.82	0.49	Δ 0.33	1.06	△ 0.57	0.40	0. 33	△ 0.07	1. 30	△ 0.97	
学 校	9歳	1. 70	2. 15	0. 45	2. 11	0.04	1. 26	1.09	Δ 0.17	1. 90	Δ 0.81	2. 17	3. 23	1.06	2. 33	0. 90	
	10歳	2. 70	2. 94	0. 24	2. 94	0.00	3. 25	3. 37	0. 12	2. 90	0. 47	2. 13	2. 49	0.36	2. 98	△ 0.49	
	11歳	1. 51	3. 04	1. 53	3. 17	Δ 0.13	2. 04	4. 20	2. 16	3. 47	0. 73	0. 98	1. 84	0.86	2. 86	Δ 1.02	
中	12歳	2. 54	4. 01	1. 47	4. 01	0.00	1. 43	4. 37	2. 94	3. 81	0. 56	3. 74	3. 65	△ 0.09	4. 22	△ 0.57	
学	13歳	3. 11	2. 04	△ 1.07	3. 36	Δ 1.32	2. 13	1. 55	Δ 0.58	3. 17	△ 1.62	4. 15	2. 58	△ 1.57	3. 56	△ 0.98	
校	14歳	2. 68	2. 23	△ 0.45	3. 33	Δ 1.10	2. 39	1. 73	Δ 0.66	3.09	Δ 1.36	2. 98	2. 75	△ 0.23	3. 58	Δ 0.83	
高	15歳	2. 77	2. 95	0. 18	3. 67	△ 0.72	3. 20	4. 08	0. 88	3.88	0. 20	2. 32	1. 69	△ 0.63	3. 46	△ 1.77	
高等学校	16歳	3. 53	3. 22	Δ 0.31	3. 28	Δ 0.06	3. 88	1. 98	Δ 1.90	3. 67	△ 1.69	3. 14	4. 52	1. 38	2. 87	1. 65	
校	17歳	2. 54	2. 97	0. 43	2. 89	0.08	3. 54	2. 37	Δ 1.17	3. 43	Δ 1.06	1. 52	3. 63	2. 11	2. 33	1. 30	

⁽注) 1. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。 肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重×100(%)

^{2.} 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

4 健康状態

- (1) 主な疾病・異常の被患率(被患率別)
 - ・幼稚園、小学校においては、「むし歯(う歯)」の割合が最も高く、次いで、幼稚園では「歯列・咬合」、小学校では「裸眼視力1.0未満の者」の順になっている。
 - ・中学校、高等学校においては、「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合が最も高く、次いで「む し歯(う歯)」の順となっている。

表5 学校種別疾病・	異常の被患率順位
------------	----------

順位	幼稚園		順位	小 学 校		順位	中 学 校		順位	高 等 学 校	
順江	区 分	%	順业	区 分	%	順业	区 分	%	順江	区分	%
1	むし歯(う歯)	22.3	1	むし歯(う歯)	36.6	1	裸眼視力1.0未満の者	53.1	1	裸眼視力1.0未満の者	67.2
2	歯列•咬合	12.9	2	裸眼視力1.0未満の者	34.5	2	むし歯(う歯)	25.2	2	むし歯(う歯)	32.4
3	鼻•副鼻腔炎疾患	4.1	3	(歯・口腔)その他の疾病・異常	10.3	3	鼻•副鼻腔炎疾患	10.1	3	鼻·副鼻腔炎疾患	7.6
4	(歯・口腔)その他の疾病・異常	2.7	4	耳疾患	5.8	4	歯垢の状態	6.8	4	その他の疾病・異常	6.7
5	その他の疾病・異常	1.8	5	その他の疾病・異常	5.2	5	歯列•咬合	6.1	5	歯列·咬合	4.6
6	眼の疾病・異常	1.7	6	鼻•副鼻腔炎疾患	4.9	6	(歯・口腔)その他の疾病・異常	6.0	6	心電図異常	3.6
7	歯垢の状態	1.5	7	歯垢の状態	4.7	7	歯肉の状態	5.8	7	歯肉の状態	3.2
8	アトピー性皮膚炎	1.4	8	歯列•咬合	4.5	8	その他の疾病・異常	5.5	7	アトピー性皮膚炎	3.2
9	耳疾患	1.0	9	心電図異常	4.1	9	耳疾患	3.4	9	歯垢の状態	2.9
10	ぜん息	0.6	10	歯肉の状態	2.8	10	口腔咽喉頭疾患・異常	2.7	9	(歯・口腔)その他の疾病・異常	2.9

表6 主な疾病・異常の被患率(被患率別)

(<u>%</u>) 腔 心 蛋 ぜ 裸眼視力 耳鼻咽頭 ア 眼 1.0 0.3 む し歯(う歯) 白 の 雷 . ピ ー 耳 鼻疾 口疾 未 未 疾 検 腔 患 未の 区 満 病 义 λ 分 満 処 完 性 副 疾 咽 -処あ 出 の 計 7 ഗ 喉異 皮 置る 異 異 置者 ഗ 者 者 腔患 頭常 膚 患 歯者 常 炎 幼稚園 5 歳 22.3 16.8 Χ 1.0 4.1 5.5 0.1 0.6 34.5 10.5 4.9 21.1 2.0 計 0.4 5.8 2.1 36.6 15.5 2.6 4.1 0.5 小 6 歳 22.3 9.0 5.0 24.0 0.1 2.6 2.7 0.5 13.2 31.5 7.6 2.4 4.1 25.7 3.2 0.3 4.6 1.7 1.2 40.0 15.0 25.0 3.7 ... 0.3 1.7 学 31.4 5.6 25.4 3.0 • • • 0.3 8 6.9 0.7 4.2 1.8 43.2 17.8 1.8 38.6 4.9 2.7 44.2 20.8 3.2 0.4 2.1 9 11.5 0.4 7.8 23.4 校 10 42.0 16.8 0.5 5.0 4.6 0.9 35.0 15.5 19.4 1.5 ... 0.6 2.3 45.4 20.8 0.3 0.4 3.5 1.2 26.0 13.4 12.6 2.2 1.5 1.4 計 53.1 24.3 0.7 3.4 10.1 2.7 25.2 14.0 11.2 2.2 2.7 1.9 1.3 中 49.7 12 歳 26.2 0.9 8.0 11.9 3.1 27.7 15.1 12.6 2.1 2.7 2.1 1.3 学 13 54.6 0.7 0.5 9.1 2.8 23.5 13.1 10.4 2.2 ... 1.8 1.3 Χ 校 14 54.8 24.1 0.4 1.8 9.5 2.2 24.5 13.9 10.6 2.3 1.7 1.2 計 1.4 67.2 42.3 1.0 0.2 7.6 0.1 32.4 19.5 12.9 3.2 3.6 1.1 1.2 等 15 歳 Χ Χ 1.0 0.1 8.1 0.1 26.8 15.9 10.8 3.2 3.6 1.0 学 16 69.3 7.5 3.2 1.2 46.2 0.9 0.3 0.2 32.6 19.6 13.0 1.4 校 17 76.8 0.2 38.1 15.0 1.6 1.0 0.1 7.2 23.1 3.1 1.0

⁽注) 1.「…」は、調査対象とならなかった場合である。

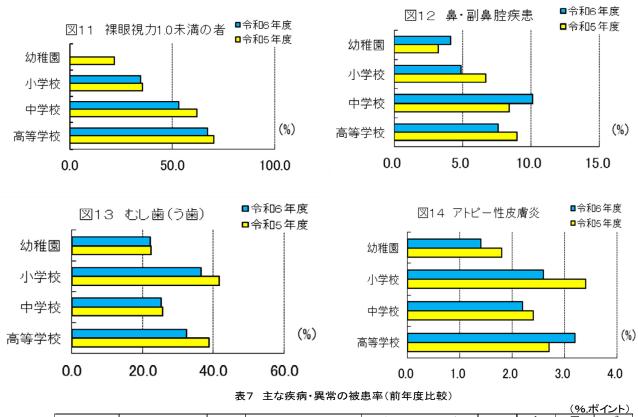
^{2. 「}一」は、数値がなかった場合である。

^{3. 「} X 」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

(2) 主な疾病・異常の被患率

①前年度比較

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、小学校、中学校、高等学校では前年度を下回っている。 (図 11)
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の割合は、幼稚園、中学校では前年度を上回っているが、小学校、高等 学校では下回っている。(図 12)
- ・「むし歯(う歯)」の割合は、全ての区分で前年度を下回っている。(図 13)
- ・「アトピー性皮膚炎」の割合は、高等学校では前年度を上回っているが、幼稚園、小学校、中学校では下回っている。(図 14)



														<u> </u>
		裸眼視	力		耳	鼻咽	頭	歯	. 🗆	腔	ア	心	蛋	ぜ
		1.0	0.3	眼 の	4	= .+	- ±	む	し歯(う菌	恒)	トピ	電	白	
区	分	未満	未満	疾 病	耳	鼻 疾 •	口疾 腔患			未の		図	検	h
	ח	の	の		疾	副	咽•	計	処 完 了	処あ	性中		出	70
		者	者	異常	患	鼻 腔 患	喉 異 頭 常		置者	置る 歯者	皮 膚	異	の	
				TF							炎	常	者	息
幼稚園	5	21.8	1.2	1.6	1.0	3.2	1.8	22.4	7.0	15.4	1.8		-	1.1
	6	Х	Х	1.7	1.0	4.1	_	22.3	5.5	16.8	1.4		0.1	0.6
対前年	年差	Х	Х	0.1	0.0	0.9	_	△ 0.1	Δ 1.5	1.4	△ 0.4	•••	_	△ 0.5
小学校	5 较	35.5	10.9	0.5	4.9	6.7	1.4	41.6	20.6	21.0	3.4	2.7	0.6	1.6
	6	34.5	10.5	0.4	5.8	4.9	2.1	36.6	15.5	21.1	2.6	4.1	0.5	2.0
対前年	年差	△ 1.0	△ 0.4	△ 0.1	0.9	△ 1.8	0.7	△ 5.0	△ 5.1	0.1	△ 0.8	1.4	△ 0.1	0.4
中学校	5 交	61.9	28.1	2.2	1.4	8.4	8.0	25.6	15.0	10.6	2.4	4.2	1.9	1.2
	6	53.1	24.3	0.7	3.4	10.1	2.7	25.2	14.0	11.2	2.2	2.7	1.9	1.3
対前年	手差	△ 8.8	△ 3.8	△ 1.5	2.0	1.7	1.9	△ 0.4	Δ 1.0	0.6	△ 0.2	Δ 1.5	0.0	0.1
高等学	5 校	70.1	44.7	0.9	0.2	9.0	0.3	38.7	22.7	16.0	2.7	4.2	0.9	1.3
	6	67.2	42.3	1.0	0.2	7.6	0.1	32.4	19.5	12.9	3.2	3.6	1.1	1.4
対前年	年差	△ 2.9	△ 2.4	0.1	0.0	△ 1.4	△ 0.2	△ 6.3	△ 3.2	△ 3.1	0.5	△ 0.6	0.2	0.1

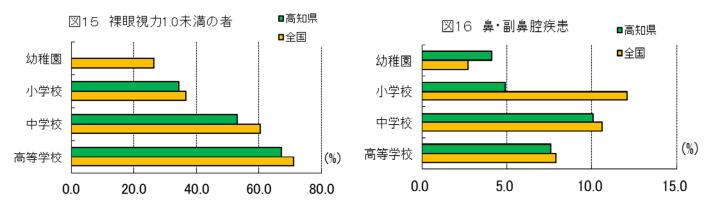
⁽注) 1.「…」は、調査対象とならなかった場合である。

^{2. 「-」}は、数値がなかった場合である。

^{3. 「} X 」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

②全国比較

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、小学校、中学校、高等学校では全国平均を下回っている。 (図 15)
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の割合は、幼稚園では全国平均を上回っているが、小学校、中学校、高等学校では下回っている。(図 16)
- ・「むし歯(う歯)」の割合は、幼稚園、小学校では全国平均を上回っているが、中学校、高等学校では下回っている。(図 17)
- ・「アトピー性皮膚炎」の割合は、高等学校で全国平均を上回っているが、幼稚園、小学校、 中学校では下回っている。(図 18)



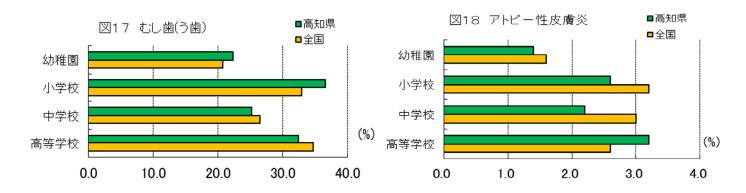


表8 主な疾病・異常の被患率(全国比較)

				10	っ エル	7大7内 - 共	吊の彼	忠平(3						
														イント)
		裸眼視	カ		耳	鼻咽	頭	歯	. 🗆	腔	ア	心	蛋	ぜ
		1.0	0.3	眼 の		6 #		む	し歯(うち	恆)	۲ ۲	電	白	
区	分	未満	未満	疾病	耳	鼻 疾 •	口 疾 腔 患			未の	Ī	図	検	h
	73	の	の	7/4 •	疾	副	四 •	計	処 完 了	処あ	性		出	70
		者	者	異	ф.	鼻咖啡	喉異	ēΙ	置者	置る	皮 膚	異	o l	
		19	18	常	患	腔 患	頭常			歯者	炎	常	者	息
幼稚園	全国	26.5	0.8	1.4	1.9	2.7	0.8	20.7	7.4	13.3	0.0	1.6		1.2
	高知県	X	Х	1.7	1.0	4.1	-	22.3	5.5	16.8	1.4		0.1	0.6
対全	国差	Х	Х	0.3	△ 0.9	1.4	_	1.6	△ 1.9	3.5	1.4			△ 0.6
小学校	全国	36.8	10.3	5.5	6.3	12.1	1.0	32.9	16.4	16.5	0.0	3.2	2.6	1.0
	高知県	34.5	10.5	0.4	5.8	4.9	2.1	36.6	15.5	21.1	2.6	4.1	0.5	2.0
対全	国差	△ 2.3	0.2	△ 5.1	△ 0.5	△ 7.2	1.1	3.7	△ 0.9	4.6	2.6	0.9	△ 2.1	1.0
中学校	全国	60.6	29.8	4.8	4.8	10.6	0.5	26.5	16.1	10.4	3.0	3.0	2.8	1.9
	高知県	53.1	24.3	0.7	3.4	10.1	2.7	25.2	14.0	11.2	2.2	2.7	1.9	1.3
対全	国差	△ 7.5	△ 5.5	△ 4.1	△ 1.4	△ 0.5	2.2	△ 1.3	△ 2.1	0.8	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.9	△ 0.6
高等学校	全国	71.1	39.4	3.3	2.6	7.9	0.4	34.7	21.5	13.2	2.6	3.1	2.7	1.4
	高知県	67.2	42.3	1.0	0.2	7.6	0.1	32.4	19.5	12.9	3.2	3.6	1.1	1.4
対全		△ 3.9	2.9		△ 2.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.3	△ 2.0	△ 0.3	0.6	0.5	△ 1.6	0.0

⁽注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。 2. 「-」は、数値がなかった場合である。

^{3. 「}X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため 統計数値の公表なし。